

第34回 NST 旗争奪新潟県中学校剣道大会要項

- 1 主催 (一財) 新潟県剣道連盟
- 2 協力 新潟県中学校体育連盟剣道専門部
- 3 後援 新潟県中学校体育連盟
- 4 会場 亀田総合体育館 (アスパーク亀田)
- 5 期日 令和7年11月30日(日)
- 6 競技日程
 - 7:00 開場
 - 8:15 役員代表者会議
 - 8:45 開始式
 - 9:00 試合開始(女子)
 - 12:15 試合終了・表彰(女子)
 - 13:00 試合開始(男子)
 - 16:15 試合終了・表彰(男子)
- 7 競技種目 団体戦(男女)
- 8 参加資格
 - (1) 参加チームは、新潟県中学校体育連盟加盟の中学校や新潟県中学校体育連盟に団体戦の出場を認められた地域クラブ活動、新潟県中学校体育連盟剣道専門部に出場許可を得た団体とする。(1・2年)
 - (2) 各チーム男女1チームずつとする。
 - (3) 個人情報取り扱い(利用目的)
大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した情報は、大会の資格審・大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表等の他、競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する監督・引率者及び各選手はこれに同意する。
- 9 参加校数 予選会を行わず、フリー参加とする。
- 10 参加料 1チーム6,000円 ※申込後の急な欠席の場合、参加費は返金しない。
- 11 登録人員 団体戦：監督1・コーチ1・選手7とする。
 - ※ 監督は、中学校の場合は、当該校の校長・教員・部活動指導員とする。地域クラブ活動の場合は、地域クラブ活動の指導者とする。
 - ※ コーチは、中学校の場合は、当該校の校長・教員・部活動指導員とする。地域クラブ活動の場合は、地域クラブ活動の指導者とする。
 - ※ 中学校で校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合、校長が適切であると承認した外部指導者(コーチ)に引率及び監督の資格を認める。
- 12 競技規則
 - (1) (公財)全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則・細則」及び令和7年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項による。
更に、以下を含めた試合・審判の方法とする。
 - ① (公財)全日本剣道連盟「剣道試合・審判・運営要領の手引き」(令和6年9月1日改訂)
 - ② 『令和7年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部 審判員共通認識事項』(令和6年10月1日)
 - (2) 試合方法

- ① トーナメント方式で優勝、2位、3位を決定する。
- ② 決勝戦まで、試合は3本勝負、時間は3分、勝負の決しない場合は引き分けとする。
- ③ 勝者（チーム）が決しない場合は、任意の代表者による代表者戦を1本勝負、時間は3分、勝敗が決しない場合は、延長を2分ずつ区切って行い、勝敗が決するまで行う。この場合の任意の代表者については、補員を含めた登録選手7名の中から代表者を選び、再出場を認める。

※延長戦については、熱中症への対応を考慮し2分ずつ区切って以下のように行う。

試合時間3分 ⇒ 延長2分⇒ 延長2分⇒ 【小休止（深呼吸をする程度）】 ⇒
 ⇒ 延長2分⇒ 延長2分⇒ 【面を外しての休息・給水（5分）】 ⇒
 ⇒ 延長2分⇒ 延長2分⇒ 【小休止（深呼吸をする程度）】 ⇒
 ⇒ 延長2分⇒ 延長2分⇒ 【面を外しての休息・給水（5分）】 ⇒
 ⇒ 試合の続く限り繰り返す

(3) 選手変更

団体戦の選手変更については①②の通りである。

①選手の補充登録

ア 申し込み以降に、けが・病気等の理由により、出場できない選手・補員が生じた場合には、その選手・補員の登録を抹消し、新たに補員の補充をすることができる。この場合には、監督会議の席上で許可を得ること。

イ 選手を変更する場合は、補員からとする。

②補員の起用

ア 補員を起用する場合は、選手変更を試合前までに試合場係に届けること。

イ 補員の起用は、交代者の位置とする。交代者の再出場は認めない。

ウ 上記『イ』により、補員を使い切った後に選手の欠員が生じた場合は、その対戦は不戦敗になる。

(4) 特別規定

① 出場選手は、下記の要領で布製の名札を着用する。黒または紺地に白文字とし、学校名（県名禁止）、または地域クラブ活動名、氏名を明記する。

② 学校名の場合は「中」と表記（中等学校は、□□中等、〇〇義務学校は〇〇義務、など）すること。

③ 地域クラブ活動の場合は、その団体名等を表記すること。

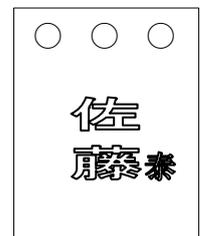
④ チーム名は横書き、姓は縦書きとし、同姓の選手がいるときは、名前の頭文字を入れること。解釈として、別の選手であることが確認できること。

(5) その他

① 化学繊維竹刀の使用を認める。

② アイガード、ポリカーボネート面の使用を認める。

③ 面マスクまたはシールドの使用を義務付ける。



13 表 彰

種目	優勝旗	優勝杯	岩崎杯	賞状
団体戦	優勝チーム	優勝チーム	2位	1～3位

14 参加申込

(1) 期 限 令和7年10月14日（火）

(2) 申し込み方法

① 参加料は、申込期日までに、下記口座へ学校名で振り込む。なお、振り込み手数料は各チームで負担する。領収書は振込金受取書にて替える。

ゆうちょ銀行 記号 11270 番号 19121911

新潟県中学校選抜剣道大会事務局

- ② 出場チームは、申込期日までにメールで、申込書のデータを、
新潟県剣道連盟 小澤 享 (akira01-ozawa@city-niigata.ed.jp) に送信する。
その際のファイル名は、R7 NST 大会申込【チーム名】とする。
- ※ 締切期日を厳守してください。期限を過ぎた場合については一切受け付けません。

15 その他

(1) 試合規則・審判規則・試合運営に関すること

① 竹刀について

- 竹刀の計測計量は行わないが、不正竹刀を使用した場合は、発見した時点でその選手の負けとする。既得本数は認めない。以後の試合はその選手は出場できない。不正竹刀とは「ビニールやセロテープをまいた竹刀」「異物を挿入した竹刀（異物とは先革のゴム、柄頭のちぎり、鉄片以外の物）を指す。
- 次の基準による。

	性別	中学生
長さ	男女共通	114cm以下
重さ	男子	440g以上
	女子	400g以上
太さ	男子	先端部最小直径：25mm以上 ちくとう部最小直径：20mm以上
	女子	先端部最小直径：24mm以上 ちくとう部最小直径：19mm以上

○竹刀先革の先革の長さは50ミリメートル以上とする。

○柄革は、滑り止めや模様等のない無地のもので白色とする。

② つばについて

- 革色または白色、直径9cm以下のものを使用する。それ以外の鍔を使用した場合は、その場で替えさせる。

③ つるについて

- 弦の色は白または黄色が望ましい。

④ 剣道具装着について

- 剣道着、袴への校名や校章の刺繍等は、大きさや色を含め華美にならないように配慮する。（校名・校章以外の刺繍やワッペン等の着用は認めません。道場名や各種団体の刺繍・ワッペン等は外してください。）
- 面紐の長さは、結び目より40cm以内とし、色は赤系統など華美な色は禁止する。
- 面皮革の色は、黒または紺とし、20cm以内の長さとする。
- 目印は、幅5cm・長さ70cmのものを着用する。

⑤ 試合場について

- 役員、審判員、監督、コーチ、選手以外は試合場エリアには入れない。

⑥ 観戦と応援について

- 先鋒・大将戦は監督・選手ともに選手席で正座をして観戦する。
- 選手交代の際のよけいな動作（握手・胸突き）は禁止する。
- 試合会場（アリーナ）内で、円陣でのパフォーマンスや、団体戦での礼の際のパフォーマンス（声出しなど）は禁止する。
- 選手席への時計の持ち込み、サイン等の指示や試合者への声援はしてはならない。応援は拍手のみとする。
- 試合場内への応援旗、部旗、その他試合に関係の無い物の持ち込みは禁止する。

⑦ 監督とコーチの服装について

- 監督、コーチの服装は、紺色ブレザー、白色ワイシャツ、グレー色（無地）ズボンまたはスカート、エンジ色のネクタイ、紺色の靴下とする。

⑧ 水分補給について

- ・勝敗が決するまで行う代表戦においては、2分ずつ区切って行い、延長2分×4回ごとに5分間の面を外しての休息・給水を設けるが、選手の状況を見て審判主任・主審が判断して、休憩を設けたり、給水をとらせたりする場合がある。その際は、指定された場所での給水を認める。
- (2) 組み合わせ、本大会の連絡事項につきましては、新潟県剣道連盟のHPにアップされます。ご確認ください。[\(https://niigata-kenren.com/\)](https://niigata-kenren.com/)。なお、各学校へのFAXでの送付はしませんので、ご注意ください。